

Title	イノベーションを誘発する功利的ネットワーク行動に関する研究
Sub Title	Innovators' purposeful networking and incentives
Author	三橋, 平(Mitsuhashi, Hitoshi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究では、イノベーターが功利的なネットワークを構築し、より創造的なイノベーション活動を行うドライバーとしての賃金制度のリデザインが果たす役割について検討を行った。従来の研究では、インセンティブとイノベーションの関係、ネットワークとイノベーションの関係が研究されてきた。前者については、例えば、成果主義型インセンティブが導入されると、内発的同期が損なわれ、また、リスクに対する寛容度が低くなるため、創造的なイノベーション活動に対しては負の効果があることが知られてきた。後者については、例えば、構造的空隙理論では、多様な知識や情報に対するアクセスがイノベーションの礎となるとして、オープンなネットワークを構築することが重要であるとされてきた。しかしながら、これらの2つの文献の潮流を掛け合わせた、つまり、インセンティブ・ネットワーク・イノベーションの3者に関する包括的な研究がなかった。そこで本研究では、インセンティブ制度を成果主義に変えたときに、イノベーターのネットワーク活動にどのような影響が生じ、それによって、どのようにイノベーション活動が促進、もしくは停滞するののかについて理論化と検証を行った。理論的仮説としては、成果主義にリデザインされたときには、イノベーターはより成果を出すために自らのネットワーク内の多様性を高める行動に出るのではないかと、という仮説を立てた。例えば、繰り返し紐帯を避け、自らの専門領域と近い他者とのネットワークを避けるのではないかと考えた。そして、その結果、多様性の向上が創造的なイノベーション活動を促進するのではないかとという仮説を立てた。1990年代にある企業が採用した成果主義に着目し、トリートメントとコントロール群を設け、特許データ、特許共著ネットワーク・データを用い検証を行ったところ、おおむね仮説は支持された。</p> <p>Social network research has advanced our understanding of structural effects on individuals' behavior and performance at the expense of limited attentions to the role of discretions of individuals who attempt to extract values from networks and those of managers who attempt to design networks in their organizations. This study demonstrates that shifts from low- to high-powered incentive plans promote individuals' goal-oriented instrumental networking, rather than affect-based embedded networking, and that the shifts also engender their non-local search, resulting in generating new ideas with greater values. We tested our argument with quasi-experimental research designs and found support to it with the patent application data of a Japanese electronics firm that had made the shifts in the early 1990s.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180159

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	商学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	三橋 平	氏名 (英語)	Hitoshi Mitsuhashi		
研究課題 (日本語)						
イノベーションを誘発する功利的ネットワーク行動に関する研究						
研究課題 (英訳)						
Innovators' purposeful networking and incentives						
1. 研究成果実績の概要						
<p>本研究では、イノベーターが功利的なネットワークを構築し、より創造的なイノベーション活動を行うドライバーとしての賃金制度のリデザインが果たす役割について検討を行った。従来の研究では、インセンティブとイノベーションの関係、ネットワークとイノベーションの関係が研究されてきた。前者については、例えば、成果主義型インセンティブが導入されると、内発的同期が損なわれ、また、リスクに対する寛容度が低くなるため、創造的なイノベーション活動に対しては負の効果があることが知られてきた。後者については、例えば、構造的空隙理論では、多様な知識や情報に対するアクセスがイノベーションの礎となるとして、オープンなネットワークを構築することが重要であるとされてきた。しかしながら、これらの2つの文献の潮流を掛け合わせた、つまり、インセンティブネットワーク-イノベーションの3者に関する包括的な研究がなかった。そこで本研究では、インセンティブ制度を成果主義に変えたときに、イノベーターのネットワーク活動にどのような影響が生じ、それによって、どのようにイノベーション活動が促進、もしくは停滞するのかについて理論化と検証を行った。理論的仮説としては、成果主義にリデザインされたときには、イノベーターはより成果を出すために自らのネットワーク内の多様性を高める行動に出るのではないかと、という仮説を立てた。例えば、繰り返す紐帯を避け、自らの専門領域と近い他者とのネットワークを避けるのではないかと考えた。そして、その結果、多様性の向上が創造的なイノベーション活動を促進するのではないかとという仮説を立てた。1990年代にある企業が採用した成果主義に着目し、トリートメントとコントロール群を設け、特許データ、特許共著ネットワーク・データを用い検証を行ったところ、おおむね仮説は支持された。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>Social network research has advanced our understanding of structural effects on individuals' behavior and performance at the expense of limited attentions to the role of discretions of individuals who attempt to extract values from networks and those of managers who attempt to design networks in their organizations. This study demonstrates that shifts from low- to high-powered incentive plans promote individuals' goal-oriented instrumental networking, rather than affect-based embedded networking, and that the shifts also engender their non-local search, resulting in generating new ideas with greater values. We tested our argument with quasi-experimental research designs and found support to it with the patent application data of a Japanese electronics firm that had made the shifts in the early 1990s.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
Mitsuhashi, Hitoshi	Shaping Individuals' Networking Behavior with Incentive Plans: High-powered Incentives for Promoting Instrumental Networking	Academy of Management 経営学会 アメリカ	2018.8.			